

# I

## みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

“大家族”が互いに語り合いながら“生活方針”を立て、  
それぞれの役割を発揮し、結束しながら“健全家計”を維持し、  
みんなが幸せな生活を送れるようにします。

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(1)

**市民とともに歩む経営を行います**

**目標達成に向けての考え方**

「市民は高浜市の共同経営者である」という観点に立ち、政策形成過程や事業の実施・評価における市民参画を促進し、市民とともにP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)サイクルをまわし、市民が主役の経営を行っていきます。

- ◆ 総合計画をまちづくりの共通目標とし、経営の中心に置いて、実効的な運用を行っていくことが重要です。
- ◆ 総合計画の策定時と同様に、総合計画の実行、評価や進行管理にも市民が参画することが大切です。
- ◆ 市民と行政が的確な判断や行動をできるようにするためには、情報を共有することが欠かせません。
- ◆ まちづくりの目標達成に向けては、市民と行政が対話を重ね、市民感覚の経営を行うことが必要です。

**こんなことに取り組みます！**

- ★ 総合計画の進行管理に行政評価システムを導入し、市民とともに、総合計画の実行、評価を行います。
- ☆ 行政が実施していることを市民にわかりやすくお知らせします。
- ☆ 市民ニーズに基づいた経営を行うため、市民意識調査などを実施し、多様な参画機会を創ります。

MEMO

### 目標が達成された姿

- ◇ 市民と行政がまちづくりの目標・課題・解決策といった情報を共有し、まちに対する愛着を深め、まちづくりに積極的に関わろうとする市民が増えています。
- ◇ 総合計画の実行、評価や進行管理に多数の市民が参画し、わかりやすい経営が行われています。
- ◇ 職員は、市民の意見をじっくり聞き、行政の考えをきちんと伝え、市民と真剣に対話しています。

### みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値 (2013)	指標の 目指す方向
1) 目指すまちの姿である「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族 たかはま」を知っている人の割合	—	30%	
2) 総合計画の評価や進行管理に参 加したことがある人の数	—	100人	



### 市民会議の声

- ・市民ニーズをつかみながら改善をしていく仕組みがあるといいな。
- ・途中でも方針変更できる柔軟さがあるといいな。
- ・事業目的を明確にして、数値目標を掲げてPDCAをまわりたいなあ。
- ・市民もまじえて事業の進行管理ができないかなあ。

### MEMO

---



---



---

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(2)

## 次世代のために、健全な財政運営を行います

### 目標達成に向けての考え方

限られた財源の中で、事業に優先順位をつけて、「あれかこれか」を選択し、メリハリのきいた健全な財政運営を行っていきます。

- ◆ 施策の着実な実現のためには、中期的な財政見通しに基づき、計画的・効果的な財政運営を行うことが重要です。
- ◆ 財政運営においては、「納得のいく経費で納得のいく効果」を挙げる努力が欠かせません。
- ◆ 予算編成の透明性を確保し、市民にわかりやすい財政運営を行うことが大切です。
- ◆ 市民に便利で効率的な行政サービスを提供することが求められています。

### こんなことに取り組みます！

- ★ 事業の見える化やムダの削減を行うため、事業仕分けの手法を活用します。
- ★ 予算編成のプロセスや財政状況などを「わかりやすい予算書」などにとりまとめ、市民にわかりやすくお伝えするとともに、考えることができる環境を整えます。
- ★ 公共施設の今後のあり方を市民とともに考えます。
- ☆ 財政計画に基づき、施策・事業の実施にあたっては、緊急度や必要性などをもとに優先順位をつけるなど、メリハリのきいた予算編成に取り組みます。
- ☆ 市民サービスの向上につながるものについては、国・県・近隣市などをはじめとした関係機関との広域的な連携を行います。
- ☆ 行うべき仕事にあわせて組織を構築し、目標を実行・達成するための体制を整えます。

MEMO

### 目標が達成された姿

- ◇ 事業に優先順位をつけ、「あれかこれか」を選択する仕組みができています。
- ◇ 地域の現状や課題をしっかりと把握し、歳出が最適化され、健全な財政運営が行われています。
- ◇ 財政に関する情報が市民に浸透し、市民が当事者意識をもって、市の財政状況を見ています。
- ◇ 効率的に行政サービスが提供され市民に喜ばれています。

### みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値 (2013)	指標の 目指す方向
1) 将来負担比率*	20.9%	将来負担なし	➔
2) 市の財政状況に関心を持っている人の割合	74.2%	80%	➔

\* 将来負担比率・・・市全体で、市が将来的に負担する可能性のある借金の総額が、市の1年間の収入と比べどれくらい多いかを示す指標。(家庭に例えると、借金の残高が年収の何年分に相当するかを示した割合。例:20.9%→年収の1.209年分の借金の残高があることになります。)



### 市民会議の声

- ・ 収支バランスのとれた健全な財政運営をしてほしいなあ。
- ・ いろんな事業において受益者負担の原則は大事だと思うけど・・・。
- ・ 市の財政をわかりやすく知らせてほしいなあ。
- ・ 必要に応じて近隣市と連携してほしいなあ。

### MEMO

---



---



---

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(3)

**市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います**

**目標達成に向けての考え方**

元気で活力に満ちたまちづくりを目指し、「高浜市自治基本条例」の趣旨を活かして地域の課題解決や魅力の向上に向けて知恵を出し合い、ともに汗をかいていきます。

- ◆ 「自分たちの地域のことは、自ら考え、自ら責任を持って行動する」という意識のもと、市民主体のまちづくりを行うことが重要です。
- ◆ 地域内分権\*推進の担い手として、小学校区を単位とする「まちづくり協議会」を支援することが大切です。
- ◆ 職員は、地域の課題解決に向けた取組みに対し、自らの責務として率先して市民や地域などと連携することが必要です。

\* 地域内分権 ……地域を構成する市民が互いに支えあいながら安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、地域の自主性・主体性を尊重し、市民と行政がお互い補完しあいながらまちづくりを行うこと。

**こんなことに取り組みます！**

- ★ 「高浜市自治基本条例」に基づいた自治の仕組みをわかりやすく示し、まちづくりの中で活用します。
- ★ 地域の「どうしよう？」を解決し、「こうしたい！」という想いを実現するための仕組みとして「市民予算枠事業」を行います。
- ★ 限られた財源を地域で有効活用するため、「まちづくり総合交付金制度」の導入を検討します。
- ☆ 新たな自治の仕組みづくりのため、市民力、職員力アップに取り組みます。

MEMO

### 目標が達成された姿

- ◇ 市民と行政の意見交換が活発に行われ、お互いの信頼関係が深まり、ともにまちづくりを行っています。
- ◇ 地域の課題を地域の自主的・主体的な活動により解決する取り組みが活発に行われています。
- ◇ 市民同士がきちんと話し合いをして、お互いに納得できる合意を創り出すなど自治力が向上しています。
- ◇ 多くの市民がまちづくりに関わり、地域のニーズに即して税が有効に活用されています。

### みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値 (2013)	指標の 目指す方向
1) 「高浜市自治基本条例」を知っている人の割合	—	30%	➔
2) 地域活動に参加したことがある人の割合	45.4%	55%	➔
3) 地域活動に参加している職員の割合	45.0%	60%	➔



### 市民会議の声

- ・ 市民力アップのために、「市政について」とか「行政の仕組みについて」学べる講座があるといいなあ。
- ・ 職員もまちに出て積極的に汗をかいてほしいなあ。
- ・ 自治基本条例は、いかに市民に広めていくかがポイントだね。

### MEMO

-----

-----

-----

MEMO